



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)札幌南7西1ホテル	階数	地上8F
建設地	北海道札幌市中央区南7条西一丁目13-7	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年4月 予定	評価の実施日	2017年3月21日
敷地面積	761 m ²	作成者	
建築面積	463 m ²	確認日	
延床面積	3,283 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>周辺環境に圧迫感を与えないように前面道路よりセットバックした計画とし、機械駐車場を建物内に設け、周辺環境と調和することを目指した。快適なホテル客室環境の確保 宿泊者に安心を感じてもらえるセキュリティ機能の確保 日常メンテナンスに対する配慮</p>	<p>A 省エネルギー</p> <p>効率の良い空調機と照明器具を採用した。客室の窓はLowE複層ガラスを採用し外皮性能に配慮した。LED照明器具の採用。</p>	
<p>B 省資源等</p> <p>耐久性の高い材料を採用し、断熱材は現場発泡ウレタン A種(ノンフロン)を採用。節水器具の採用</p>	<p>C 緑化</p> <p>特になし。</p>	<p>D 雪処理</p> <p>歩行者用通路、駐車場通路等にロードヒーティングを採用し、積雪対策に配慮。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される